

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 2月 20日

事業所名 こぼんはうすくら 都筑中川教室 保護者等数(家庭数)19 回収数19 割合 100%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応	
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	18件	1件				・危険のないような配慮が必要。 ・児童が各自の荷物を自己管理しやすいよう、スペースを保つ工夫をする。	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	17件	1件		1件	・いつもたくさんの先生方に見ていただけている、知っていただけている安心感があります！ ・その日その日の配置は見えない部分なので…。	・保護者の方や子どもたちに、安心して利用して頂けるようにこれからもコミュニケーションを大切にしていきたい。	
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	15件				4件		・玄関前とトイレの前に段差があるため職員が手を繋ぐ等の配慮を継続して行う。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	19件					・面談時だけでなく、日頃の様子などに対応できるようにしていく。	
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	19件				・毎回違うプログラムで色々な経験をさせていたいただいています。 ・子どもが楽しめるプログラムが工夫されて行われていると思います。	・児童の様子に合わせて内容を職員間で相談しながら、今後も様々な経験を積めるように工夫をしていく。	
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5件	5件	2件	7件		・交流会はないが、イベントや公園などで交流する機会があれば関わり方を伝えていきたい。	
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	19件					・保護者さま対応は管理者が中心となるが、送迎時や連絡帳などのやりとりで丁寧な対応を心掛ける。	
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	19件				・子どもの事をよく見て分析して下さっていると感じます。 ・家庭では見えない、集団の中における姿について共有して下さるのが嬉しいです。	・必要な時にはすぐにお伝えをするようにしている。 ・送迎時にはスムーズな受け渡しを望まれる方もいらっしゃるなので、共有方法などもニーズに合わせていきたいと思う。	
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	18件	1件			・母子ともにとても支えて頂いていて心強いです！ ・何かあればいつも相談に乗って下さり、ありがとうございます。	・相談していただきやすい関係を築き、常に寄り添う姿勢を大切にしていきたい。	
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	13件	1件	1件	4件	・可能であれば、土日に保護者会を実施して頂けると、より参加しやすいです。	・今年度は保護者会の開催が出来たので、今後は回数を増やすことも検討したい。(曜日の設定にも配慮する) ・夏休み中のお祭りは好評なので、今後も継続したい。	
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	16件				3件		・苦情があった場合の対応について準備をしていくが、まずは苦情に繋がらないような対応を基本とする。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	19件						・連絡帳や送迎時の伝達、電話相談などを継続する。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	19件						・月に一度のこぼんだよりを継続し、支援の様子をお伝えする。
14 個人情報に十分注意しているか	19件						・今後も十分に配慮を行う。	
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	18件	1件			・感染症のお手紙は、よくいただいています。防犯マニュアルはありますか？	・定期的な避難訓練のほか、日常的に伝えていく必要があると考えている。	
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	18件	1件					・定期的な避難訓練を継続し、様子をお伝えする。

満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	19件	1件		<ul style="list-style-type: none"> ・毎週楽しみにしています。いつも色々なレク等ありがとうございます。 ・いつもルンルンで通所しているので、送り出す時もすごく安心できます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も楽しく安心して過ごせる場所になるように、職員一同で様々な準備をしていきたい。
	18	事業所の支援に満足しているか	19件			<ul style="list-style-type: none"> ・いつも色々と本当にありがとうございます！今後も引き続きよろしくお願ひいたします。 ・いつも丁寧に指導いただき感謝しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者さまのあたたかい言葉やご意見は大変ありがたく、職員の励みになります！

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 2月 20日

事業所名 こばんはうすさくら 都筑中川教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	14件		・月間、週間スケジュールを元に、利用者の人数が適切に保たれている。	・児童の動きを予測して、安全に配慮していくことも必要。
	2	職員の配置数は適切である	14件		・職員間で話し合い、追うても号が悪くなってしまう場合は助け合い、配置数が足りるようにしている。 ・職員配置は多めになっており、安全面に考慮されている。 ・十分な人数があり、適切。	・職員間の連携を強めて、共通意識を持つようにしている。 ・安心していただけるよう、安全に配慮して過ごしたい。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	14件		・トイレのみ差があるが、トイレ誘導時に職員が見守り、声掛けが出来る。 ・エントランスでのつまずき起きないようにはよいしている。	・玄関前とトイレの段差については必ず職員が手を繋ぐ等の配慮を徹底する。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	14件		・利用者に対する課題や目標などを職員で共有している。 ・プログラムなど参加が難しい児小津がいた時にはアプローチ方法を都度相談するようにしている。	・現在、全ての職員が意見を発言しやすい環境を作れているので、今後も続けたい。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	14件		・定期的なアンケートをもとに、職員同士話し合い、改善につなげる工夫をしている。	・保護者さまからのご意見を真摯に受け止め、日々の支援に生かしたい。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	13件	1件	ホームページにて公開している。	・毎年、年度末までに公表を行っている。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	14件		・本部のSVIによる訪問や助言。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	13件	1件	・全員が一齊に集まることは難しいが、書類に目を通して状態を共有している。 ・対面や動画など、職員のシフトに対応しながら機会を作るようにしている。 ・年間計画を立て、状況に応じた内容の研修を取り入れている。虐待は必須として、新入職者には都度説明をする。	・聴覚障害の児童への対応など、聴覚資産にご指導いただけたのは良かった。 ・シフトの関係で全員が集まる機会がない為、全員が研修を受けられるような工夫をしたい。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	14件		・多くの職員が日々の支援で感じたことをすぐに共有して、支援の改善や取り組みの変化に役立っている。 ・職員同士、アセスメントを色々な角度からアプローチして計画作成に工夫をしている。 ・主に児発管が対応作成をして、職員共有をしている。	・定期的な更新を継続する。 ・職員の意見を取り入れ、個々にあったアプローチ方法を考えたい。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	14件		・支援経過記録を通して定期的に状況を把握している。 ・様々な状況を理解できるような細かい内容を確認できるものを使用している。 ・保護者面談にて、定期的に更新をする。	・定期的な更新を継続する。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	14件		・2か月前にチームで案を出し合い、より良いプログラムにする努力をしている。 ・協力して行っている。 ・職員全員が能動的に役割を持ち、アイデアを出し合ってそれを取り入れる。 ・スタッフ複数人でアイデアを出し合って沢山の立案を行っている。その時に必要だと思われることを取り入れるようにする。	・職員の負担のないように配慮しながら、なるべくたくさんの方の意見を取り入れたい。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	14件		・季節のプログラムやその時に必要な物を皆で考え、プログラム作成をしている。 ・職員個々の発案を柔軟に受け入れてくれるため、工夫しやすい。 ・毎月新しい案を出し合うため、常に新鮮な活動プログラムを行っている。 ・2か月前からアイデアを集めてバランスを考えている。	・児童の容共に合わせて内容を提供出来るようにする。 ・様々な経験を積めるように、新たなチャレンジも出来るようにしたい。

適切な支援の提供	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	14件		<ul style="list-style-type: none"> ・夏休み工作、こぼんまつり、クッキングや個別の充実など、休日を利用しての支援が行えている。 ・長期休みは大きな目標を立て、達成するために全員で取り組んでいる。 ・プリントやプログラムを充実させて支援している。 ・長期的な目で見られる内容のプログラムを用意している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・長期休暇には継続的な製作やクッキングなど、普段は出来ない体験を取り入れていく。 ・個別のプログラムの充実を図る。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	14件		<ul style="list-style-type: none"> ・児童が出来ることのレベルに合わせて、少人数で試してみたり、集団での活動が出来るように計画する。 ・児童ごとに個別の学習やプログラムの参加方法を考えている。 ・児発管が取りまとめ、それぞれ職員の見立てを伺う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の児童の様子を把握し、職員間での共有を継続する。 ・個々にあったプログラムを用意出来るように、支援経過記録を記入している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	14件		<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼や朝の準備などを通して当日の流れや対応をシミュレーションしている。 ・朝、昼の打ち合わせ。その他、必要に応じて話し合いと共有を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間での共有を継続する。 ・全員が集まる機会が少ないため、情報共有はSNSツールも活用している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	14件		<ul style="list-style-type: none"> ・支援終了時間が異なるため、日報やSNSを使い共有している。 ・終了時にいない職員も居るため、メモや書類で共有している。 ・その日にあったことをそのままにせず、改善のために共有して今後の利用者の対応を考える。 ・全員が集まる機会がない為、都度、それぞれのコミュニケーションを大切にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・その日にあった出来事について、次に繋げられるように話し合いを欠かさない。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	14件		<ul style="list-style-type: none"> ・日報や日々の個別支援経過記録をとっている。児童の把握や情報共有に役立つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の支援経過記録を継続する。 ・日々のコミュニケーションを大切にしたい。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	14件		<ul style="list-style-type: none"> ・児発管が面談と計画行進を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援経過記録やカンファレンスを通して、今後もお子さまの課題や状況を把握していく。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	14件			<ul style="list-style-type: none"> ・様々な意見を取り入れ、多方面からのアプローチが出来るように工夫をする。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	14件		<ul style="list-style-type: none"> ・管理者が参加している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も管理者が参加し、情報を共有していく。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	13件	1件	<ul style="list-style-type: none"> ・主に管理者が各方面と連絡を取り合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活を円滑に過ごすためにも、関係機関との連携を大切に、今後も情報共有を継続していきたい。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	6件	8件	<ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケア児が通所していない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在は該当する児童はいないが、連絡体制は整えている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	14件		<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて共有している。 ・連絡帳等で情報共有を踏まえて支援を計画する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要であれば丁寧に対応をして、児童が穏やかに安心して過ごせるように協
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	11件	3件	<ul style="list-style-type: none"> ・私の知る限りでは障害福祉サービスに移行した児童はいないが、その場合に対応できるような体制は整えるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在該当者なし
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	14件		<ul style="list-style-type: none"> ・主に管理者が各方面と連絡を取り合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者が共有したことは、必ず職員にも情報共有を行っている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	7件	7件	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント等、外出先で他児と関わることもあるが、積極的には行っていない。 ・「交流会」としての開催は無いが、公園等での交流は日常的にある。【相手の承諾を得てから関わるようにしている】 ・学校に通いながら来所しているため、そのような機会を作る必要は、今のところ無いと感じる。 ・大人の目がまっくと多くないとやや難し 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的な機会はないが、イベントや公園など外出先での関わりがあるときには丁寧に伝えていきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	13件	1件	<ul style="list-style-type: none"> ・私自身は参加していないが、管理者が参加している。 ・管理者が参加している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者が代表して参加し、情報共有を徹底する。

	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っている	14件		<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションを取る事を大事にして、日々の児童の成長や出来事を伝えている。 ・変化が見られる時にはこまめに共有するようにしている。 ・連絡帳や電話、送迎時など、共通意識を持てるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳や送迎時の伝達、電話相談などを継続していく。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	13件	1件	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて管理者から伝えられている。 ・LINEを活用した【プライベートゾーン】の会話の発信をしている。 ・ペアレントトレーニングとしては行っていないが、日々相談しやすい環境作りや関係性を大切にしている。 ・ペアトというより座談会のような形で保護者の支援を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・トレーニングとしては行っていないが、日々のご相談には丁寧に対応することを今後も継続する。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	14件		<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に管理者が対応している。 	
保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	14件		<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットで質問箱を秘匿の状態で設置したこともある。 ・主に管理者が対応をするが、送迎時等で相談を受けた際には必ず共有している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も相談しやすい環境作りを大切にす。 ・常に寄り添う気持ちを大切にして、コミュニケーションを大切にする。また難しい問題に関しては必ず職員間での相談を行う。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	14件		<ul style="list-style-type: none"> ・コロナが落ち着いたタイミングで保護者会を開催できた。日々の支援の様子を知ってもらいたい機会になった。 ・今後、増やしていきたいと思っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は1回開催出来た。今後も機会を増やしたい。 ・夏休みのおまつりは好評のため、今後も継続して保護者さま同士の繋がりが出来る機会も提供したい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	14件		<ul style="list-style-type: none"> ・苦情(というより問い合わせ)があった際には、当日中に電話連絡を行い対応を適切に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在苦情はないが、今後も十分な配慮のもと支援を行う。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	14件		<ul style="list-style-type: none"> ・毎月お便りを発行し、活動の様子をお伝え出来ている。 ・月に一回のおたよりは職員で担当をまわし、様々なメッセージを伝えられるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・こぼれだりの発行により、支援の様子をお伝えする。 ・より良い内容を考えていきたい。
	35	個人情報に十分注意している	14件		<ul style="list-style-type: none"> ・職員一同、配慮出来ている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に説明をしているが、日々意識をして過ごすことを継続したい。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	14件		<ul style="list-style-type: none"> ・気にされているであろう点(言葉の選択)は避けながら、なるべくすべてを伝えられるように努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・こまめに連絡を取り、児童の様子を共有する。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	8件	6件	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民からの要望や機会はない。 ・地域での会議等は管理者が参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との交流を作っていきたい。(今年度は日程に都合で芋ほりには参加できなかった)
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	14件		<ul style="list-style-type: none"> ・必要な時には手紙を配布する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特に感染症対策については引き続き徹底する。 ・SNS ツールを活用し、様々な情報共有を増やしたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	14件		<ul style="list-style-type: none"> ・年に2回の避難訓練を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練や防災の認識を高められるような活動を考えていく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	14件		<ul style="list-style-type: none"> ・年1～2回の研修。また日々の話し合いは欠かさない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修のほか、日々の話し合いなど今後も継続したい。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	13件	1件	<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束が必要なほどの児童はいないが、対応に誤解が生じないように職員間での情報共有に気を付けている。 ・児童の安全を守る以外には身体拘束をしないことなど、スタッフ同士状況を見極めながら対応できるように記載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束ではない方法を話し合い、十分な配慮のもと支援をしたい。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	14件		<ul style="list-style-type: none"> ・事務所の見やすい場所に掲示。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在は特に対応すべき児童いないが、丁寧に接することが出来るように、アレルギーのある児童を事務所に掲示して把握できるようにしている。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	14件		<ul style="list-style-type: none"> ・報告書の作成、他の職員との共有は欠かさない。 ・スタッフ同士状況を伝えあい、事例として記録を残している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も気付きを増やしていきたい。 ・頻りに職員で話し合いをする。 	